

第62回
県高校総体

最終日

今夏24年ぶりに四国で開かれる全国高校総体(インターハイ)の徳島県予選を兼ねた第62回県高校総合体育大会(県教委、県高体連主催、徳島新聞社後援)最終日は7日、鳴門ポカリスエットスタジアムで陸上競技が行われた。女子三段跳

びは高内結菜(鳴門)が大会記録を7秒更新する11秒98で2連覇を達成。女子砲丸投げは川口由真(生光学園)が13秒74で優勝し、5日の円盤投げと合わせて2種目を制した。学校対抗は鳴門が男女とも1位となった。

女子砲丸
川口(生光学園)
優勝

陸上

鳴門ポカリスエットスタジアム

①女子三段跳

徳島 25秒33(徳島) 鳴門(鳴門) 25秒36(吉野) 鳴門(鳴門) 26秒00以上(直い風影響) 30000円 ②我奔那茶(富岡東) 9分57秒05(大西) (徳島北) 10分3秒57(近藤) 城ノ内(10分30秒) 1000円 ③砲丸投げ ①川口(生光) 13秒74(生光) ②木(鳴門) 15秒16(細川) (城南) 15秒43(1000円) ④鳴門(長町) 福島(吉野) 花(4分0秒) 36(城東) 4分5秒 36(鳴門) 潮(4分7秒) ⑤三段跳 ①高内結菜(鳴門) 11秒98(大新) ②徳徳(鳴門) 11秒20(佐藤) (鳴門) 10秒50(砲丸投げ) 川口(生光) 13秒74(生光) ②学(13秒74) 川口(生光) ③12秒47(二面) (城東) 9秒02

△総合(鳴門) 1位(富岡東) 60点(鳴門) 通過55点

全国見据え進化誓う川口

13級台後半の投てきで、危なげなく県総体を2連覇した。ただ、女子砲丸投げ高校生全国ランキング2位の川口(生光学園)は「ライバルがいる。録を伸ばすかもしれないし、油断はしていない。課題を修正しながら仕上げていく」と、あくまで全国の舞台を見据えている。

右足を引き込んだためた力を、砲丸を突き出す瞬間に解放する。この日も身上とするタイナミックな投法で1本目から少しずつ記録を伸ばし、3本目で最長の13秒74をマークした。5本目でも13秒73を投げ、安定感を示した。

4月に全国2位の13秒89を記録し、8月の全国総体での活躍が期待されている。「体は動いているし、筋力も向上した。あとは本番で一本(14級台)出せるよう調整していきたい」。自己ベストは14秒37。過去の自分を超える一心の投てきを見せられるか。自分との戦いは続く。

(富士佳輝)



女子砲丸投げ決勝 13秒74で1位になった生光学園の川口